

集団 ストーカー 犯罪

役所・自治体・会社・学校のイジメ・ご近所トラブル・防犯を装い社会的に抹殺！

24時間 365日恐怖の監視という、信じられない事が現実起きています。多勢による執拗な嫌がらせで、精神的に追い込む！

自殺強要！
事故誘発！
犯罪誘発！
完全犯罪！
社会的に抹殺！
精神疾患に！

なぜ？ 善良な一般市民がターゲット!?

身に覚えのない加害！ 誤解された新種の凶悪犯罪！ 最先端テクノロジー悪用！

加害組織は、盗聴・盗撮・通信傍受・スマホ、パソコンハッキング
家宅侵入・GPS尾行により行動パターン全ての個人情報を把握し
万引きの常習犯、危険人物等『犯罪予備軍』として、でっち上げ
想像を絶する嫌がらせを延々と開始します。

組織的に用意周到にターゲットを追い詰めます！
被害者は警察・弁護士・議員・人権擁護委員に
相談しても助けてもらえません。

嫌がらせの協力依頼！

見知らぬ複数の人達から組織的に嫌がらせを受ける。集団で
追い込む為に大勢の人に加害者は〈ささいなこと〉を依頼します。

こんなことを頼まれます

- あの人 cameたらこう言って
- あの人 cameたら大きい音を出して
- あの人 cameたら皆で咳払いをして
- あの人 cameたらニヤリと笑って
- あの人 cameたら、この仕草をして

こんな理由で頼んできます

- あの人 の為にかかって欲しい
- マイナス思考を取り除くため
- あの人 の病気の治療のため
- 大規模なドッキリ！
- 単に悪い人だから等



集団ストーカー被害の理由

- カルト宗教とのトラブル。
- 地域社会での村八分。
- 企業でのリストラ工作。
- 家庭争議での「別れさせ工作」。
- 遺産乗っ取りや地上げ工作。
- 産業スパイ利益獲得の為。
- 復讐代行。
- 学校での集団いじめ。
- ネットでの政治的書き込み。

そして殆ど被害者は、思い当たる理由もなく延々と嫌がらせを受け続けています。

年間の自殺者が2万~3万の国

- 集団ストーカーの別名は、自殺強要ストーキングと言います。
- 集団ストーカー被害者は、国内に2万~3万はいると言われていています。
- 過去20年間の自殺者の中に、どれ程の被害者が、誰にも理解されず亡くなったことか…。
- 芸能界のネットリンチ、自殺には、この手法が用いられています。

ストーカー規制法は機能しない

- 集団ストーカーは大人数で、見た事もない者が入れ替わり立ち替わり犯行に及び、証拠を取っても証拠にならない。
- 恋愛の限定のあるストーカー規制法では、警察も動かない。
- 条例レベルの規制では、この最先端科学技術（テクノロジー犯罪）悪用の総合的犯罪、殺人罪に匹敵する凶悪犯罪も軽微な犯罪と誤解を受ける。
- 犯罪の全貌を明らかにし、それに見合った法整備と刑罰を求める。

地域の防犯パトロール悪用

- 警察の生活安全課指導の防犯ネットが、何ら罪を犯していないターゲットを『犯罪予備軍』として監視を行う。その手法は公安警察の行動確認と酷似しています。
- 攻める防犯として、一般市民に付きまとい、法律にも無い衆人監視と嫌がらせが行われている。
- 防犯ネットには、カルト教団の信者が率先して参加している。

